

プログラカプセル・顆粒を 服用される患者のみなさまへ

服用にあたっての注意点

免疫抑制剤

日本薬局方[※] タクロリムスカプセル
タクロリムス水和物顆粒

[薬価基準収載]



プログラフ[®] カプセル0.5mg / 1mg / 5mg
顆粒0.2mg / 1mg

創薬、処方箋医薬品
(注意—医師等の処方箋により使用すること)

Progaf[®]

※顆粒0.2mg/1mgは除く



プログラカプセル・顆粒を服用される患者のみなさまへ

よくお読みいただき、正しく服用して下さい。

服用にあたっての注意点

- 服用する直前に包装から取り出して服用して下さい。
- 必ず指示に従い、コップ1杯の水またはぬるま湯と一緒に服用して下さい。
- 高齢者の方は、特に主治医の指示を守って服用して下さい。
- ご自分の判断で量や回数を変更したり、服用を中止したりしないで下さい。
- 服用し忘れた場合は、



<臓器移植および骨髄移植を受けられたみなさま/潰瘍性大腸炎および多発性筋炎・皮膚筋炎に合併する間質性肺炎患者のみなさま>

気がついたときにできるだけ早く1回分を服用して下さい。ただし、次に服用する時間は、5時間以上間隔をあけて下さい。

<重症筋無力症/関節リウマチ/ループス腎炎患者のみなさま>

その日のうちに気がついたときはできるだけ早く服用して下さい。翌日気がついたときは、忘れた分を服用しないで、次の服用時間に1回分を服用して下さい。

絶対に、2回分をまとめて1度に服用しないで下さい。

- 誤って多く服用した場合は、すぐに主治医または薬剤師にご相談下さい。
- グレープフルーツ(ジュース)や一部のかんきつ類(ブンタン、ハッサクなど)と一緒に服用すると、このお薬の作用が強くなることがありますので避けて下さい。
- カンナビジオール含有製品と一緒に使用すると、このお薬の作用が強くなることがありますので避けて下さい。
- セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)を含む健康食品と一緒に服用すると、このお薬の作用が弱くなることがありますので避けて下さい。
- 以前にお薬を服用して発疹などが出たことがある方は、必ず主治医にご相談下さい。
- ほかにお薬を服用している場合(薬局で買ったお薬も)、必ず主治医にお伝え下さい。
- 妊娠または授乳中の場合は、必ず主治医にお伝え下さい。
- 予防接種を受ける予定のある方は、接種できないワクチンがあるので必ず主治医にご相談下さい。

気になることがありましたら、必ず主治医または薬剤師にご相談下さい。

*裏面もご覧下さい。

●以下のものとの併用には十分注意が必要です。
該当するものがある場合は、主治医にご相談下さい。

注意)表中のお薬は成分名で記載しています
(商品名ではありません)。

	プログラフの作用が強くなることがあるもの	プログラフの作用が弱くなることがあるもの
抗てんかん剤		カルバマゼピン、フェノバルビタール、フェニトイン
抗生素質製剤	エリスロマイシン、ジョサマイシン、クラリスロマイシン	リファンピシン、リファブチン
アゾール系抗真菌剤	イトラコナゾール、フルコナゾール、ポリコナゾール 等	
抗真菌剤		カスボファンギン
高血圧治療剤 (カルシウム拮抗剤)	ニフェジピン、ニルバジピン、ニカルジピン、ジルチアゼム 等	
抗ウイルス剤 (プロテアーゼ阻害剤)	リトナビル、レテルモビル	
その他	プロモクリップチン、ダナゾール、エチニルエストラジオール、オメプラゾール、ランソプラゾール、トフィソパム、アミオダロン	
飲食物など	グレープフルーツジュース、カンナビジオール含有製品	セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)含有食品

●mTOR阻害薬と呼ばれる免疫抑制剤との併用は、副作用の発現リスクを高める可能性があるとされています。

カプセル0.5mg



カプセル本体
(実物大)

カプセル1mg



カプセル本体
(実物大)

カプセル5mg



カプセル本体
(実物大)

PTPシート

おもて



うら



PTPシート

おもて



うら



PTPシート

おもて



うら



顆粒0.2mg



顆粒1mg



他の医療機関を受診される場合は本剤を服用中である旨を必ず医師にお伝え下さい。

主治医または薬剤師の連絡先

(2025年5月作成)IS-NK

アステラス製薬株式会社

PRG95010A03